

## 序言

地球環境戦略研究機関（IGES）が1998年4月に正式に設立され発足する前に、IGESの行う研究活動のテーマ、分野、目的、方法等について検討するため、国際ワークショップが2回にわたり開かれた。これらのワークショップにおける討議結果に基づいて、特にアジア諸国およびアジア地域全体に焦点を当てた「環境ガバナンス」の研究がIGESの実施すべき戦略的研究の主要テーマの一つに選ばれた。

これに従い、IGESが設立当初の3年間（1998年4月～2001年3月）に実施する5つの研究プロジェクトの一つとして、環境ガバナンスに関する研究プロジェクト（EGプロジェクト）を開始することが決定され、プロジェクトの目的、基本的アプローチ、方法論とともに各年の作業スケジュールや期待される成果等を記した研究計画が、プロジェクト・リーダーの加藤久和・名古屋大学教授によって作成された。

その後IGES理事会によって支持され採択された研究計画によると、IGES／EGプロジェクトの主要な目的は、アジア地域の環境ガバナンスに関連する主要な問題に取り組み、分析を行い、具体的な政策提案を行うことである。アジアのいくつかの国と準（サブ）地域レベルの環境ガバナンス・システムを選び出し、分野横断的かつ相互に比較可能な方法で検討することとされている。

このようにして、アジアの主要国の事例研究を行うことがこの研究プロジェクトの主たる構成要素になり、まず初年度（1998年4月～1999年3月）には中国、インド、タイ、日本の4カ国について国別の事例研究を行うこととなった。各国のガバナンス・システムについての検討課題には、次のものが含まれる： どのように意思決定が行われるのか、誰が決定するのか、決定がどのように実施されるのか、決定に当たってどのような情報がどこから提供されるのか、プロセスはどのように再検討されるのか、内部的及び外部的な要因がこれらにどのように影響しているのか、システムはどのように進化してきたのか、新たな課題に適応できるようなものであるか否か。

米国メリーランド大学のミランダ・シュロース博士の作成した分析枠組みに基づき、分析と比較のための共通の方法論と様式を用いて、国別研究がこれら4カ国の研究機関および研究者の協力の下に行われた。その成果と結論は、1999年3月、IGES主催の国際ワークショップにおいて討議され、一般にも広められた。

同じ年の後半には、他のアジア諸国、すなわち、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、韓国の5カ国について、前の4カ国と同様に当該国の研究機関や研究者の協力を得て、追加的な国別報告が作成された。これらの追加的国別研究の結果は、「貿易と環境」および「環境安全保障」といった分野横断的な課題に関する報告とともに、2000年3月にIGESと上智大学が共催して開かれた国際シンポジウムで議論された。同シンポジウムには、この問題に対する公共団体、民間企業をはじめ、広範な層の市民個人の関心を反映して、300名以上の多数が参加した。

さらに、これら9カ国の国別研究の成果と2回にわたる国際ワークショップあるいはシンポジウムでの結論を要約した（予備的な）報告書が、アジア太平洋地域諸国の環境大臣を集めて2000年8月に北九州市で開かれた「エコアジア2000」会議および国連アジア太平洋経済社会委員会（UN/ESCAP）主催の「環境と開発に関する大臣会議」（MCED, 2000）に合わせて作成された。

この巻は、アジア各国の環境ガバナンス・システムの事例研究に関連した過去3年間にわたるIGES/EGプロジェクトの主要な成果のすべてを総合的、かつ簡潔に紹介するためにとりまとめたものである。上述の時系列順に沿って編纂されている。すなわち、

第1部は、EGプロジェクトの当初「研究計画」、およびミランダ・シュロース博士が提案し、国別研究の実施に当たって同プロジェクトが採用した「アジアの環境ガバナンスに関する比較研究のための分析枠組み」を記載したものである。

第2部には、プロジェクトの初年度に行われた4カ国の国別研究の結果報告と、これを基に1999年3月18日に葉山で開かれた「アジア4カ国の環境ガバナンス」国際ワークショップにおけるコメントおよび討論の概要が含まれている。

第3部は、2000年3月9日に上智大学とIGESの共催により東京で開かれた「アジアの環境ガバナンス」国際シンポジウムに提出された各種の論文および会議録の主要部分で構成されている。

最後に第4部は、国別研究の結果得られた主要な結論と提言を総合的に分析し、とりまとめたものである。

これは決して、IGES/EGプロジェクトによるアジア諸国の環境ガバナンス・システムに関する事例研究の完全かつ最終の報告書ではなく、読者からのコメント　ま

たは内容改善のための提案を歓迎する次第である。

終わりに、IGES/EGプロジェクトの研究協力者、ワークショップ・シンポジウム等の参加者、その他いろいろな形で過去3年間にわたるアジアの環境ガバナンス研究に協力していただいた方々に対し、プロジェクト・チーム全員（と言っても、わずか数名であるが）を代表して、改めて感謝の意を表したい。

2001年2月

IGES/EGプロジェクト  
プロジェクト・リーダー

加藤 久和

## 目 次

### 第1部 : I G E S環境ガバナンス・プロジェクト -----

- ・研究計画
- ・アジアの環境ガバナンス比較研究のための分析枠組み

### 第2部 : アジア4カ国の環境ガバナンス(仮訳) -----

- ・中国
- ・日本
- ・タイ
- ・インド(淡水の需要と水質の管理戦略を中心に)
- ・討論の概要

### 第3部 : 国別環境ガバナンスと横断的問題に関する追加的研究(要旨)

-----

- ・インドネシア
- ・マレーシア
- ・フィリピン
- ・タイ
- ・バングラデシュ
- ・インド(土地と森林の再生を中心に)
- ・韓国
- ・中国
- ・横断的問題
  - 貿易と環境
  - 成長と環境ガバナンス
  - 環境安全保障とアジア地域
- ・総合討論

### 第4部 : アジアの環境ガバナンスの改善に向けて -----

- ・アジア9カ国の研究の総括

### Appendix : 執筆者／協力者 一覧 -----